

映画について 皆さんは、耳がきこえない人と話されたことがありますか。筆談、ジェスチャー、口元を見せてゆっくりはっきり話すなど、さまざまなコミュニケーション方法がありますが、その中で手話をメインにして話す人たち「ろう者」がいます。ろう者にとっては手話はかけがえのない言葉です。

ろう・難聴の子どもたちが通うろう学校・聴覚支援学校では、手話が使われてきたのだろう…そう、多くの方が思うでしょう。ところが、大正の終わり頃から最近までろう学校では手話は禁止・制限されていました。「口話法」といって発声し、相手の口の動きを読み取る方法が急速に広がり、口話法を進めるには手話は不要なものとされてしまっただけです。きこえない子どもが訓練によって話せるようになる…、なんと素晴らしいことだろうと、ろう者のことを知らない人は思うかもしれません。

しかし、口話法を身につけさせるために、かつての口話訓練は、つい手話で話してしまう子どもは叩かれ、両手を縛られもした苛酷なものでした。おおっぴらに手話ができないろう者たちはずっと苦しみました。

そこに疑問をもち、個々の子どもに合わせて手話と口話を取り入れる教育を進めた学校がありました。この映画の舞台となる大阪市立聾唖学校です。

映画「ヒゲの校長」は校長 高橋 潔を中心に教師たちがスクラムを組んで、手話を守り続けた実話がもとになっています。愛情と信念をもって子どもらに接した高橋と「チーム高橋」の教員たち、高橋に献身的に寄り添った家族…戦争にあけくれた困難な時代に、ろう者と共に生きた人々の物語です。

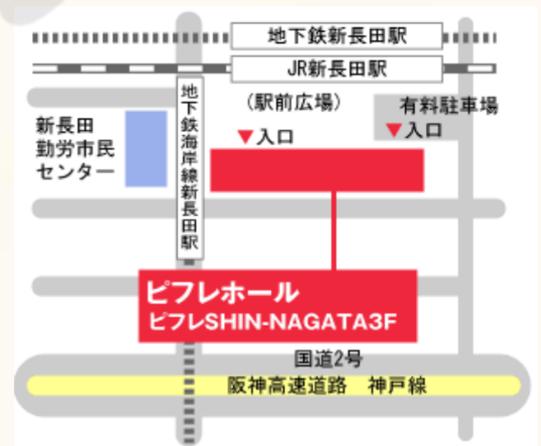
どうぞ、ご家族、お友だちとご一緒にお越しく下さい。

あらすじ 大正3年仙台から大阪へ。青年高橋潔は恩師の紹介状を持って、大阪市立聾唖学校の門を叩いた。家の事情にて海外留学し音楽家をめざす夢をあきらめ、失意にあった高橋。

そんな彼の前に現れたのは、家から追い出され、警官に連れられて来た正一君。耳がきこえず、会話できないもどかしさで暴れる正一君に、高橋は寄り添い、手話を覚え、彼と共に歩み出す…。手話やろう者のことを高橋先生に教えるきこえない先生たち…。

しかし、時代は大きく変わる。「口話法」という嵐が全国の聾学校に吹きまくり、口の動きを読み取り、発語できるようにするために手話は禁止するべきと、ほとんどの学校が手話を抑えていった。

ろう者の言葉である手話がつぶされそうになっていく中、ろう者と手話を守るべく、高橋校長と先生たちは一丸となって時代にあらがおうと立ち上がった…。



JR・地下鉄新長田駅 南すぐ

<映画「ヒゲの校長」上映会申込書>

お名前	住所 〒
	メールアドレスか FAX
ろうあ協会会員、難聴者協会会員、手話サークル会員、兵通研会員、その他（ ）、一般	
支払方法 ※12/30(金)までにお振込みいただいた方にチケットをお送りします。	振込先 郵便局 (ゆうちょ銀行) 口座名：神戸市聴覚障害者福祉施設建設推進委員会 (←口座名は名称変更前のまま) 記号：14360 番号：87539231 銀行からの振込は 預金種目：普通 店名：四三八店 口座番号：8753923 ※振込料は各自ご負担願います。 ※12月31日以降は当日券となり、定員に達しましたら、入場できません。
チケット枚数	午前の部 () 枚 午後の部 () 枚 合計 () 枚

■ 問合せ・申込みは きこえない人のひとりぼっちをなくそう PROJECT 事務局 (NPO 法人神戸ろうあ協会内) へ
メール⇒hitoribotch_0@yahoo.co.jp FAX⇒078-371-3052 TEL⇒078-371-3071

私たちは差別のないインクルーシブな社会をめざして、聴覚障害者の自立と社会参加のための福祉拡充運動を進めます！



特定非営利活動法人神戸ろうあ協会／特定非営利活動法人神戸ろうあ協会後援会／公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会／社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会／兵庫手話通訳問題研究会／神戸市手話サークル連絡会／兵庫県手話サークル連絡会／神戸市難聴者協会／兵庫県立神戸聴覚特別支援学校同窓会／特定非営利活動法人兵庫県難聴者福祉協会／社会福祉法人神戸市身体障害者団体連合会／ひょうご聴障ネット